

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟 役員選任「立候補意思表明書」

2017年 4 月 11 日 氏名 大澤 豊

【JHF 活動履歴】
1984年～1991年 南関東地区連盟 理事
1991年～2000年 北関東地区連盟 理事
1986年～2004年 ハング競技委員会 委員長
2000年～2017年 茨城県ハングパラグライディング連盟 理事及び事務局
2005年～2017年 JHF 理事

【JHF 定款への理解】（どれかひとつをマルで囲んでください） 熟知している・ ある程度理解している ・一通り目を通した・これから目を通す

【立候補意思表明】公益社団法人 JHF の活動に関するご自身の考え。 その際に下記3点を含めて下さい。 (1) 今の JHF の活動で課題と考えている事 (2) 今後の JHF が活動していくべきと考える事 (3) ご自分が理事として実践していきたい事
安全性の向上、フライヤー人口の増加、財政の適正化、法令順守、迅速な情報公開など多くの課題を JHF は抱えています。
これからもフライヤーが楽しく空を飛ぶために、これらの課題を解決していかなければなりません。
その中でも私は次の点に注力して参りたいと考えています。
<input type="checkbox"/> HG 教本改定
<input type="checkbox"/> 無線機の切り替え
③安全対策
④競技運営の改善
長年の懸案であった HG 教本改定がようやく軌道に乗ってきました。
教本の完成を目指し、担当理事として全面的に協力させていただきます。
平成34年までにアナログ無線をデジタル簡易無線(上空用)に切り替えることも重要な責務だと認識しています。
JHF 公認大会ではデジタル簡易無線(上空用)がほぼ普及されました。
JHF レポートでの告知や、フライヤー登録の更新時に注意喚起することによって、5チャンネル空中使用の出来るデジタル簡易無線(上空用)への普及を推進していきます。
団体、個人が行ってる普及事業を、JHF として支援する為の窓口となって協力させていただきます。
安全性委員会担当理事として、安全対策について議論し事故を無くすように考えてい

ますが、事故が減らないのが現状です。
安全なスポーツでないと普及に繋がらないので、これからも安全性の向上、フライヤー
の増加、財政の適正化を考えています。
長年に渡って競技委員長としてHG競技の運営に携わってきた経験を活かし、PGおよびHG競技で安全、公平な運営が出来るよう協力します。
平成17年度役員選挙にて初当選して以来12年間、理事としてJHFの抱えるさまざまな
問題に少しでもお役に立てるように、理事会には必ず出席し議論してきました。
これからもJHFを若い世代、将来に引き継げるようにJHFの活動を支えていきたいと
思います。
よろしくお願いいたします。

※この立候補意思表明書はJHFホームページに掲載し一般にも公開されます。

過去にあった800字制限はありません、また必要に応じて用紙を増やして下さい。

この用紙をプリントアウトし手書きでの提出、または上記項目を漏れなく網羅してテキストファイル(.txt)で提出することも可とします。詳しくは「立候補意思表明書の提出について」をお読みください。